

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.8.5

No. 36

反応の遅さがミス誘発！！



夏休み前の進路だより35号で、皆さんの進路の反応の遅さが懸念されることを書きましたが、その心配が現実のものとして出てきています。

夏休みに入る2日前までに企業見学の申込書が私の手元に出されたのは3通だけでした。そして夏休みに入る前日最後のLHRが終わった後20数社の見学希望が出されました。希望を出した皆さんは、「あとはお願い」で、そのまま帰ってしまいましたが、係の私はそれから各企業に連絡し、その結果を個々の生徒の携帯等に連絡し、この日は5時過ぎまでずっとその作業にかかりきりでした。電話をしても企業の担当者がいなかったり、生徒に連絡しても電話に出なかったりと、50回以上の電話をしていました。夏休み前であれば確実に各自に結果を伝えられますが、夏休みに入ってしまうと、連絡が不徹底になりがちです。

いつもの年ならば夏休みに入る前に、個々の連絡を取りそれを一覧表にして生徒に一覧表を持たせて帰すことが出来ました。この一覧表で二重にチェックすることでミスの減少につながりました。ところが今年はその表が夏休み前に見学希望申込書が出ないために全く手が付かない状況でした。しかも夏休みに入ってから一覧表が完成しても個々の生徒に登校日の5日まで渡すことが出来ません。

夏休みに入ったその日から立て続けに企業見学を欠席した生徒3名、遅刻した生徒1名が出たという報告を受け、係は大急ぎで各企業に謝りの電話を入れました。それぞれに理由はあるでしょうが、結局は連絡の不徹底がこうした事態を招きました。

どんなに注意しているつもりでも、人間にはミスは付きものです。こうしたミスを少なくするためにも、二重にチェックする余裕がなくては、ミスは防げません。皆さん自身のこうした対応の遅さが結局、ミスを誘発し学校の信用を落とす原因に繋がっていることをもっとしっかり自覚して欲しいものです。



今年は希望者全員分の求人がありません！

夏休み明けに、最終希望調査と校内選考が行われますが、一部の企業に希望が集中し、今のままではどこも受けようのない生徒がかなりあふれそうです。しかも今年はいまだに、希望者全員分の求人が確保できそうにありません。本日配布した企業見学希望の一覧表をよく見て、再度別の企業の見学を実施した方がよいと思う生徒は出来るだけ早めに見学希望申込書を出してください。見学も来週一週間しかできません。企業もお盆休みや夏休みにはいるところもあり、希望通りに見学が実施できるか分かりません。もたもたしていると、一次試験に願書が出せない生徒がかなり出る可能性もあります。この厳しい就職戦線の中で、本校内でも昨年よりも30名近く就職希望者が増えている現実にもっと危機意識を持たないと、卒業式までに進路が決まらない生徒がかなり出そうですよ。